

今号の主な記事

「男女共同参画懇話会」の委員を募集...2面
西宮市要保護児童対策協議会(みやっこ安心ネット)が発足.....2面
市民生活相談をご利用ください.....3面
市民祭りのシンボルマークを募集.....3面

わがまち誕生から80年



市花「さくら」

西宮市は市制施行80周年を迎えました。大正14年4月1日に、市域面積5.06平方キロメートル、人口3万4427人の県下で5番目、全国で101番目の市として誕生しました。その後、昭和8年に今津町、大社・芝村、16年に甲東村、17年に瓦木村、昭和の大合併と言われた26年には鳴尾・塩瀬・山口村との合併が行われ、市域面積は96.45平方キロメートルになり、人口も約18万人を数えました。その後、アムニティー(生活環境の快適性)豊かな「文教住宅都市」として順調に発展を続け、昭和50年には人口も40万人を突破しました。

しかし、市制70周年にあたる平成7年1月17日の兵庫県南部地震により、甚大な被害を受け、人口も一時38万人台にまで減少しました。このため、7年6月に、まちづくりを安全・安心面から見直し、総合計画を補完する「震災復興計画」を策定し、さらに11年に策定した20年度を目標年度とする「第3次西宮市総合計画」にこの計画を引き継ぎ、市民生活の再建とまちの復興に取り組んできました。

震災復興の進展とともに、減少した人口も順調に回復し、昨年12月には震災前を上回る46万人台に達しました。西宮市は、このたびの市制80周年を機に、市民の皆さんとともに、「参画と協働のまちづくり」を進め、誰もが住みたい、住み続けたいまちをめざして新たにスタートします。

西宮市制80周年を迎えて



西宮市議会議員 魚水けい子



西宮市長 山田 知

西宮のシンボル「桜」の開花にあわせるように、私たちの郷土西宮市は、大正14年に市制が施行して以来、今年でちょうど80周年を迎えました。満開の桜を眺めるにつけ、全市を桜の園にこの情熱を燃やされた先人の皆さんにあらためて感謝いたしますとともに、月日の重さを感じます。

市制80周年という記念すべき節目の年を、市民の皆さんと共に喜び、また我がまちの歩んできた歴史を振り返り、そして50年後、100年後の西宮市のあるべき姿を市民の皆さんと一緒に考えてみる機会にできたらと思います。

我が西宮市は、山と海に囲まれた良好な自然環境に加え、住宅環境の整ったま

春 4月は、新たな出会いと更なる発展をめざして出発する時であります。この春、市制80周年を迎えたわがまち西宮市の豊かな自然、優れた教育・文化・住環境などは、長年にわたりに培われてきた文教住宅都市としての営みの成果です。この間、先の大戦、あの

大震災からの復興など様々な試練を乗り越え、現在では46万人を超える人々が暮らす阪神間の中核都市として発展してまいりました。これもひとえに先人のためまぬご努力と、市民の皆さんの温かいご支援とご協力の賜物(たまもの)と心より感謝申し上げます。市長就任以来、市民の皆さんとの対話を通して、西宮の未来を熱い思いで語る多くの方

がおられることを実感し、勇気づけられました。80周年という新たな船出に当たり、21世紀を生きる私どもの責務は、将来のまちのあるべき姿を見据え、これまで以上に魅力や愛着のある、ふるさと西宮を、次の世代に引き継いでいくことでもあります。

山の緑と青い海に囲まれて、人々が働き・学び・憩い・遊ぶなど、いきいきと暮らし、活動できるまち、「人がまちを創つくり、まちが人を育はくむ」そのような夢のある西宮を実現するため、市民の皆さんと共に、全力を挙げて取り組んでまいります。



市制80周年記念イベント

80周年記念イベントの詳細は、順次、本紙などでお知らせします。主なイベント予定は次のとおり。

平成17年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成18年		
フラワーフェスティバル in 西宮市民表彰	青少年問題フォーラム	ホームステッド・フィルハーモニック交響楽団演奏会	にしのみや市民祭り・西宮ハレイド2005	大学交流祭	酒ぐらルネサンス	和菓子まつり	洋菓子園遊会	消費生活展	青少年健全育成のつどい	人権フォーラム	市制80周年記念音楽会



市の木「くすのき」

「西宮市政ニュース」は、今号から、発行日前日と当日に、すべての世帯と事業所のポストへ戸別配布でお届けしています。

発行日を過ぎて届かない場合は、西宮市シルバー人材センター(フリダイヤル)0120-72-4833(午前9時~午後8時)へご連絡ください。

市制80周年記念イベント

「西宮市政ニュース」は今号から宅配でお届けしています